



Weekly Report

(いっしょに)

真岡 RC 中川宏行 会長テーマ『仲間と共にロータリーを楽しもう！』



- 本日のプログラム 外部卓話
 ■司会 SAA 篠原 英 会員
 ■点鐘 中川 宏行 会長
 ■ロータリーソング 我らの生業

■本日のお客様

☆益子RC 牟田 紀一 様



☆益子RC 富田 兵哉 様



☆米山奨学生 ライ・ヨウティン 様



■会長挨拶 会長 中川 宏行 君

皆さんこんにちは。真岡ロータリークラブ第3129回例会のご参加ありがとうございます。

はじめにお客様のご紹介をさせていただきます。



真岡市長、石坂真一様。益子RC 牟田紀一様、富田兵哉様。足利銀行真岡支店長、相場一宏様。そして台湾から米山奨学生、ライ・ヨウティンさんです。

本日は会長挨拶を短めにし、なるべく多くの時間を石坂市長の卓話の時間に充てたいと考えております。

先日、第4グループの親睦合同ゴルフコンペが開催されました。ご参加頂きました会員の皆様、大変お疲れ様でした。個人戦の優勝は益子RC小幡正之会員。団体戦の優勝も益子RCでありました。当クラブは2位で得点差は0.8点でありました。次回は優勝を目指したいと考えております。会員の皆様の積極的なご参加を期待しています。以上、会長挨拶とさせていただきます。

【MU 会場案内】

| 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|------------------------------|--|---|---|---------------|
| 宇都宮 90：東武ホテルグランデ 小山中央：思水荘 | 宇都宮：東武ホテルグランデ 宇都宮東：ホテルニューイタヤ 小山南：小山グランドホテル | 益子：益子カントリー 下野上三川：石橋商工会館 小山北：和風ダイニング彩華 真岡西：フォーシーズン 静風 | 宇都宮西：東武ホテルグランデ 宇都宮北：宇都宮グランドホテル 小山：小山グランドホテル | 小山東：小山グランドホテル |

会長：中川 宏行 幹事：小金 幹典 会報委員：坂本光 大越正和 細島浩治 鈴木裕二 井川康紀

事務局：〒321-4305 栃木県真岡市荒町 1203 (真岡商工会館内) TEL.0285-84-2511 FAX.0285-84-2510

URL：http://rc-moka.jp/ E-mail：rc-moka@sweet.ocn.ne.jp 会報担当：細島 浩治

2025-26年度『地区研修・協議会』開催のご案内になります。



開催日は4月27日、日曜日になります。開催場所は作新学院大学になります。お忙しいところ大変恐縮ではありますが、会員皆様のご出席を宜しくお願い致します。

■本日のスマイルボックス

杉田 貞一郎 君

益子 RC

牟田 紀一君 いつも大変お世話になります。石坂市長
富田 兵哉君 2期8年間のご尽力、ご苦勞様でした。

中川 宏行君 石坂市長3月の斗六訪問では大変お世話になり、ありがとうございました。本日は卓話宜しくお願い致します。

柳田 尚宏君 石坂市長まだまだ公務ご多忙の中、真岡RC卓話にお越し頂きありがとうございます。8年間大変お疲れ様でした。

篠原 泉 君 50年余りを政治の中心に身を置かれた石坂真一様に衷心より労いの言葉を贈ります。ご苦勞様でした。お孫さん達との楽しい時間を大切に下さって下さい。その内慰労会をやりましょう。体調不良のため欠席となる非礼お詫び申し上げます。

岡本 俊夫君 真岡市長・石坂様、御多用の中私共のために時間を空けて頂き感謝申し上げます。また県議6期、市長2期と人生の大半を政治の世界に身を置き本当におつかれさまでした。落ち着きましたら一席設営させていただきます。

宇賀神裕一君 石坂市長、長らくお疲れ様でした。卓話拝聴させていただきます。

金子 正男君 石坂市長、長きに亘り県政・市政にご尽力頂きご苦勞様でした。

斉藤 敏彦君 石坂市長、永い政治生活ご苦勞様でした。ゆっくり休んでください。ゴルフお付き合いますよ！！

石塚 龍夫君 永年にわたり栃木県・真岡市発展の為に尽力賜りありがとうございます。心残り斗六に一度もご同行出来なかった事です。

柳 浩雄 君 石坂市長、卓話ありがとうございます。本日はお忙しい中、石坂市長卓話ありがとうございます。先日の斗六訪問大変お世話になりました。

坂本 光 君 石坂市長、本日は卓話ありがとうございます。また、長い間お疲れ様でした。

豊田 光弘君 石坂市長、長い間本当にお疲れ様でした。8年間の鬱憤を今日の卓話で晴らして下さい。

渡邊 佳寛君 歓迎会、ありがとうございました。晴天に恵まれ桜の美しい景色の中、美味しい料理とお酒で心温まるひと時でした。本

沼田 雄一君

日、台湾へ出張となりますが今後もご指導宜しくお願い致します。

先日は歓迎会ありがとうございました。真岡RCのみなさんの和気あいの雰囲気心癒されました。早く馴染めるように交流を深めて行きたいと思いません。今後ともご指導のほど宜しくお願い致します。

杉田貞一郎君

石坂市長、本日はお忙しい中卓話ありがとうございます。長きに亘る政治生活大変ご苦勞様でした。

■内部卓話「 市政運営を振り返って 」

真岡市長 石坂 真一 様



皆様、こんにちは。今日は真岡ロータリークラブの例会にて市長として最後の卓話になると思います。お招きを頂きありがとうございます。

又、真岡ロータリークラブの皆様には斗六市との友好を深めて頂きまして真岡市も2年前に友好都市を正式に締結をさせて頂き大変お世話になりました。私も3度、市長在任中に斗六市を訪問させて頂き、ロータリーの皆様にもご同行頂きまして大変お世話になりました。心から感謝・御礼を申し上げます。今日この卓話のお話がございました時に辞める人間が卓話をして仕方がないとお断りをしましたが、岡本様からは是非に、どうしてもとの事でお受け致しました。

これからの真岡市について、私が話すのもおかしなものがありますので、8年間を振り返って、政治生活の長い人生でございましたのでいくつか思い起こしながらお話をさせていただきます。

私もお案内の通り約半世、秘書を振り出しに政治の中で頑張って参りました。これも一重に多くの皆さんにお支えを頂いたおかげであります。当時、私が秘書になったときには福田内閣でございました。まだ三角大福中と言われた大変大物な政治家が多い時代でございまして、私の師である岩崎先生は当時三木派でございました。三木武夫さんが派閥を率いていたわけですが、1番小さな派閥から2番目位だったと思いますが、それでも70人位いた時代であります。三木先生は大学を卒業してから政治家となりました。徳島県出身でクリーンを売りとして内閣総理大臣までに上り詰めた大政治家であるわけですが、色々な、まあそういう平節を置きながら国会議員の秘書を17年、大変私にとっては貴重な経験をさせて頂きました。大臣秘書官を勤めさせて頂いて、1年間総務庁。秘書と言うのは特別国家公務員ですがそれを辞職して公務員になります。国家公務員ということで1年1ヵ月、大臣秘書官を勤めさせて頂き、当時は官沢内閣であったわけですが、大変貴重な経験をさせて頂きました。余談であります。当時は大臣秘書官もセンチュリーの運転手付でありました。素晴らしい車だあって言ったら大臣と同じ車が2台ありまして大臣の車がどこかで故障したら秘書官の車が行く。こういう仕組みがあったようでございます。それで毎日、私の東京のアパートに迎えに来て頂いて通勤してしまし

た。大変素晴らしい時間を過ごさせて頂きました。その後、当時益子の岩崎先生からどうしても出てこいと言うことで県議員に出馬をさせて頂き、6期連続で当選をさせて頂きました。その間本当に皆様方にご支援頂きながら、私が第95代の県議会議長でありました。色々振り返って歴史を調べると当時135年県議会がありました。芳賀郡で議長が出てなかったのは真岡市だけです。茂木町もいる、第2代の議長は市貝町。益子町もいた、芳賀町もいた。どういう訳で真岡市から議長が出なかったかは分かりませんが、135年の歴史の中で初めて真岡市からの議長に就任をさせて頂き、そして戦後は私ただ1人です。議員の仲間に支えられて2年連続の議長を勤めさせて頂き、その時にやはり運が良いのかどうか分かりませんが、栃木県庁の新庁舎が完成し、現在の県庁入口に栃木県と刻まれた大きな石があります。福田知事と一緒に除幕させて頂き、新しい議事堂の第1号の議長にも就任をさせて頂きました。歴史的な時代を過ごさせて頂きました。そしてご案内の通りに8年前に真岡市長に就任をさせて頂きました。8年間市長として勤めさせて頂き5月14日をもって市長を退任させて頂くことになっております。私にとっては大変凝縮した8年間であったと思っております。

私が8年前に就任をした際、後で聞いた話であります。が、職員の皆様は戦々恐々としていたようです。私は県議会時代も職員は怒鳴りつけたことがあります。県議員は怒鳴りつけておりました。若い県議員には勉強が足りない、こういうことも怒鳴りつけてきましたので、少し恐ろしい市長が来たなと職員は思っていたようでございまして、そういう中でやはりコミュニケーションを取るのが大切だと。私も職員全員を知っている訳ではございませんので全部の課と1年間かけて酒飲みをやりました。40数課はあると思いますが、私の都合に合わせなくて良い。皆様の酒飲みの機会に全部私を呼べということですのですべての課・職員とコミュニケーションを図りました。やはり酒を飲むのが1番コミュニケーションを図れる。短時間ではありましたが少しでも人となりをお互いに知ろうと言う努力をさせて頂きました。

率直に言います、国や県に比べ真岡市は、あまり意気が上がらない職員が多いなと感じました。率直に言ってそういう受け止め方をしました。やっぱり国・県と市は違うのかな、そんな感情を抱きました。しかし、一緒に仕事をしていくと素晴らしい職員がいる。潜在能力がある。それをどうやって引き出していか、そしてその人たちをどのようにやる気を出させるか、こういうことに心掛けて職員と接して参りました。そしてやはり真岡市は素晴らしい職員がたくさんいます。発想力も持っております。私も一緒になりまして、職員提案というものを始めました。職員が提案をしたものを政策として出来るもの出来ないものに仕分けをして、現在いくつもの事業が進んでおります。お悔やみコーナーを昨年栃木県で初めて設置しました。家族が亡くなったときに色々手続きが複雑であります。特に世帯主の方が亡くなると25位の課が関わって書類を作らなければならない。お亡くなりになってすぐ大変な思いのところそういう手続きがなかなか難しい。ワンストップで予約制ではありませんが全部書類を準備しそのご家族が来れば1回で済む。こういうシステムを作らせて頂きました。昨年、矢板の市長が視察に職員を連れて来ました。矢板市もワンストップを始めました。こういう職員提案を含めまして今年の1月に日本のふるさと大賞を受賞しました。総務大臣、栃木県で初めて受賞を受けたわけではありますがこれ

は私ではなくて、高校生・大学生が中心となった、まちづくりプロジェクトという公共空間を使って色々な事業を展開しておりました。予算はほとんどありませんでした。高校生・大学生が自分たちで見つけてやっています。例えば寺子屋ドーナツ。夏休みに小学生や中学生に青空ステーションを使って子供たちの勉強を見よう。その時にドーナツを提供しよう。これも自分たちで色々な事業を展開してカンパをしてもらったお金でドーナツを子供たちに提供しました。こういう取り組みが高い評価を頂きまして、ふるさと大賞を受賞致しました。これらも職員提案から全て始まりました。年に2回、職員提案を募り、そしてそれを事業化出来るか検討し、表彰しております。色々な細かい事業もございしますが、特にDXは、栃木県で真岡市がナンバーワンであります。一生懸命職員の皆様のご努力を頂いてスマートフォンから色々な手続きが出来ます。真岡市は現在230種類位あります。例えば、これから公民館を借りるとします。その時には当然手続が必要です。これまでは市役所に行って鍵を借りなければならない。現在はキーボックスを設置しました。登録した人のスマホにキーボックスの開錠番号が入ります。直接公民館で鍵を自分たちで開けられる。いちいち市役所へ何度も来なくて済む。こういうものも進めております。やはり市民の利便性を図って行く。DXについてもマスターとかいろんなランクを作りました。課でリーダーがたくさんいます。正直言って課長さん達はこのDXが苦手です。私も苦手ではありますが、栃木県でDXを始める時に県が真岡市に来て、ある職員を貸して下さい。立ち上げにどうしても必要ですと頼まれました。その職員は全くそういう学校にも行っておりません。独学でDXを学んで自分でプログラムを作っています。こういった優秀な職員をはじめとし、本当に多くの皆様に助けられました、私も先ほど申し上げましたように国会議員の秘書を勤め、そして県議員と言う歴史を積んできました。秘書時代も県議員時代も市長と言う職をそれなりに見ていましたので、やる事はなんとなく理解していました。しかしこんなにも責任が重いのか、やはり市長として判断しそして決断する事の責任の重さを率直に感じました。まず台風19号の時です。真岡市は14市の中で偶然にもありがたいことに殆ど災害が発生することはありませんでした。しかしながら、24時間私も市役所に防災服を着て待機しておりました。その陣頭で真岡市も雨は降っておりましたので、気象庁と連絡を取り合い、いつ避難指示を出すか出さないかの判断はすべて市長である私の判断であります。色々な情報を収集し分析を行いました。若干職員の中ではまだ早いのではないですかと言う声もありましたが、遅いよりは早い方が良いということで避難所を2つ開設致しました。真岡小学校の体育館を訪問した際、私は門前地区が大水になった記憶がうっすらと甦りました。門前が大洪水になって家がほとんど壊滅になってしまった。」それを経験している人たちが何人か真岡小学校に避難しました。恐怖です。川の災害は。経験した方々には少しは安心出来るのかなと感じました。又、二宮では土砂災害警報が発令されました。消防団の皆さんに一軒一軒歩いて頂きました。避難して頂けないんです。大丈夫だからとか慣れているからと。1軒だけが土砂災害の被害にあってしまいました。この現状はやはり怖いなと感じました。消防団の皆様大変ご苦労頂いて避難できる方、避難してください。2階に上がってくださいと放送し、消防団も歩いて頂きましたが、皆様はどこが避難所か分からないという声が現実になりました。避難所

